



環境部会は、現在 11 名の部会委員で活動しています。
(活動方針) 洛西ニュータウンまちづくりビジョンの戦略「～自然環境の保全と美しいまちなみづくり～」を着実に推進していきます。

- ・「豊かな緑、美しい街路と河川、ゆとりあるまちなみ」は、洛西ニュータウンの宝です。これを守り、育て次世代に継承するためのまちづくり活動を進めています。
- ・これまで「勉強会」などで提案してきた「通りの愛称づくり」や「植栽マップ作成」などを「洛西ニュータウンの魅力発見・発信プロジェクト（仮称）」の一環として事業間、部会間との相互連携を取りながら実施に移すべく準備を整えています。



植栽の維持管理のための勉強会 (H22.8.2)



●今後の活動予定

美しいまちなみづくりのための「地区計画」の意義、周知や、近い将来問題が顕著になると考えられる「高齢化を迎えた住環境づくり」や「新たな住民を迎える環境づくり」にも勉強会などを開催しながら取り組んでいきます。
 (若い世代の入居を促すためにも、洛西ニュータウンの魅力を継続的に発信していく必要があります。)

部会活動報告

各部会のこれまでの活動や今後の活動方針、活動予定などを報告します。

安心安全・子ども育成部会 (部会長：香水義三)



少子高齢化が進み、子ども達の歓声が聞こえる事が少なくなっています。こうした状況に、私たちは「住民同士、互いが創る安心安全・子育てのまち」をスローガンに「子どものふるさと創り」をテーマとした活動を実施しています。



高齢化が進む洛西にあって、次世代のボランティア人材の養成は大きな課題です。昨年末より「子どもまちづくりサポーター」を結成しました。これは、「子どもの、子どもによる、子どものためのまちづくり活動の実践」を目標に、26名の小学生、中学生、高校生が参加して、スタートしました。「まちを知る」活動では、グループに分かれてニュータウン内を歩き回り、まちの表情を観察、また5月には満開のナンジャモンジャの木を観察しました。そして、8月の夏休みには、「まちなかの林間学校」として、小畑川の自然観察と焼きトウモロコシを食すイベントを実施しました。一般的に「まちづくり活動」は大人が主体となる場合が多いので、若年世代の意見を取り込むことにおいて「子どもまちづくりサポーター」は貴重な存在です。大人と子どもが、時にはホストに、時にはゲストになることにより、「互いが創る洛西ニュータウン」にしたいと思っています。

■今後の活動予定（「子どもまちづくりサポーター」）

これまでに吸収した情報を基本に「壁新聞を作成するチーム」と「公園を舞台に自分たちの希望を実現するチーム」に分かれて、具体的な成果が得られるよう活動していきます。

7月8日（木）に開催した第3回の部会で、次の通りまとめました。

＜今年度の目標＞

言葉は少し固いのですが、住民・地域（洛西）が当面している問題の解決において活動されている「個人」や「グループ・団体」を支援し、それらの連携・協働を推進するための中間組織（プラットフォーム）の立ち上げに着手する。

＜今年度の活動＞

- ①「地域活動団体交流事業（第1回「洛西ニュータウンボランティア・市民活動団体交流会）」の発展・拡大
- ②住民（地域）の生活問題を解決するための、共助組織（自治連合会等）との連携・協力の可能性についての情報収集、検討・勉強会の開催
- ③グループ・団体に関する収集データの拡大と利用

＜部会の開催＞

原則月1回（第1木曜日）19:00～です。傍聴歓迎いたします。詳細は委員会ホームページ (<http://www.rakusaint.com>) までご確認ください。



コミュニティ部会 (部会長：鈴木日出生)



生活機能向上部会 (部会長：井上新三)

生活機能向上部会は、現在6名の部会委員により構成され、以下の3つの目的に向けて取組を進めています。

目的① 交通アクセスの向上

- ・京都市交通局や民間事業者と連携した、公共交通の利便性向上や利用促進
- ・将来を見据えての、洛西ニュータウン内サブセンターを巡回するコミュニティバスやデマンドタクシー導入の可能性の検討

目的② サブセンターの活性化

- ・各サブセンターの商店主等へのヒアリング調査実施による現況把握
- ・各サブセンターや商店主等と連携した魅力の発信

目的③ 高齢者の買い物環境向上

- ・高齢者に対するヒアリング調査の実施による買い物環境の現況把握
- ・ボランティア等による買い物支援の取組の検討、協議

